

新規事業箇所調書

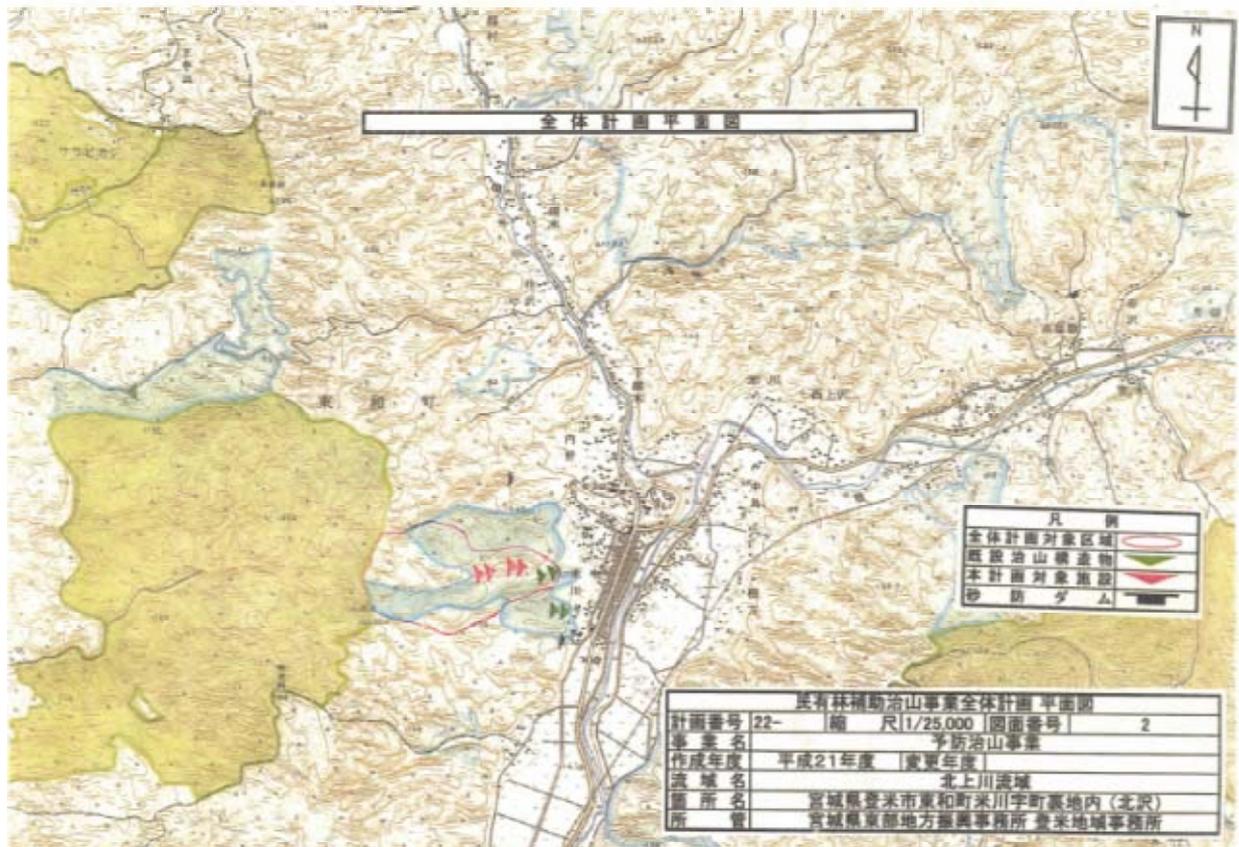
		調書作成年月日		平成22年 2月 9日																				
		事業担当課		森林整備課																				
事業名	予防治山事業（北沢） <small>きたざわ</small>	補助・単独の別	補助	事業主体	県																			
施行地名	とめしとうわちようよねかわあざまちうら 登米市東和町米川字町裏 地内			管理主体	県																			
根拠法令	森林法																							
事業の概要	事業目的	<p>本地区は周辺地域の稲作農業の重要な水源となっている一級河川「二股川」の支流部に位置しており、急峻な地形であることから豪雨等により荒廃する要因を有している溪流であるが、近年の台風等により溪流の荒廃が著しく進行し、荒廃森林からの生産土砂が下流域に流失するきざしがあることから、治山事業により荒廃傾向にある溪流等の荒廃危険地の崩壊等を未然に防止する。</p>																						
	事業内容	治山ダム 4基																						
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ()</th> </tr> <tr> <td>内用地費</td> <td>[50 %]</td> <td>[50 %]</td> <td>[%]</td> <td>[%]</td> </tr> <tr> <td>0.30億円</td> <td>億円</td> <td>0.15億円</td> <td>0.15億円</td> <td>億円</td> </tr> </table>				全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ()	内用地費	[50 %]	[50 %]	[%]	[%]	0.30億円	億円	0.15億円	0.15億円	億円
	全体事業費	費用負担内訳																						
国		県	市町村	その他 ()																				
内用地費	[50 %]	[50 %]	[%]	[%]																				
0.30億円	億円	0.15億円	0.15億円	億円																				
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成22年度（1年間）</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成 一 年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成22年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成22年度（1年間）			用地買収着手予定年度	平成 一 年度	工事着手予定年度	平成22年度												
事業期間	平成22年度（1年間）																							
用地買収着手予定年度	平成 一 年度	工事着手予定年度	平成22年度																					
	施設管理の予定	県が維持管理を行う。																						

事業の必要性	上位計画等	<p>治山事業は、森林法に基づく「森林保全整備事業計画」により、豪雨等による山地災害を防止するとともに、これによる被害を最小限にとどめ地域の安全性の向上に資するため、保治山施設の設置と機能が低下した保安林の整備等を推進することとしている。</p> <p>県においても、「治山事業実施方針」により山地災害の復旧及び未然防止に努めることとしており、本地区で指定された山地災害危険地区での治山対策を推進している。</p>
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>○社会経済情勢</p> <p>* 災害発生時の影響 保全対象：人家50戸，公道570m</p> <p>* 過去の災害実績 被害が発生した災害実績は無いが、近年の度重なる豪雨等により、本地区から流下した土砂により満砂状態となっていることから、現況を放置した場合、更に不安定土砂が堆積し、下流の集落に土砂が流下する等する可能性が高い。</p> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>* 地域の協力体制等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元自治体による山地防災パトロール等の実施 ・ 土砂流出防備保安林指定地 ・ 山地災害危険地区（崩壊土砂流出危険地区）指定地
事業の有効性	事業効果	<p>○想定される事業効果</p> <p>治山ダムの設置により、荒廃のきざしのある溪流に存する不安定土砂を固定することにより、山地に起因する災害から直下の保全対象範囲の生命・財産などが保全される。</p>

事業の効率的性	関連事業の概要・進捗状況等																																				
		特になし。																																			
	代替案との比較検討																																				
		<p>荒廃のきざしのある溪流の溪床に堆積した不安定土砂の移動及び流下を抑制するため、これら抑止機能を高度に発揮する治山ダムを採用している。</p>																																			
	コスト削減計画																																				
		<p>治山ダムの設置予定箇所において浅い表層に覆われた岩盤が確認できることから、堤体と間詰を同時打設する等、詳細調査結果に応じて積極的なコスト削減を検討する。</p>																																			
	費用対効果																																				
		<p><u>根拠マニュアル：林野公共事業における事前評価の手引き（平成20年版）</u> <u>社会的割引率： 4 %</u> <u>便益算定期間： 50 年</u> <u>基準年：平成22年</u></p>																																			
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">費</td> <td style="width: 35%;">建設費</td> <td style="width: 20%;">25,000千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>用</td> <td>維持管理費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>総費用</td> <td>25,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>現在価値（C）</td> <td>25,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">便</td> <td>水源かん養便益</td> <td>155,774千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>169,675千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">益</td> <td>総便益</td> <td>325,449千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現在価値（B）</td> <td>325,449千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>費用便益比（B/C）</td> <td>13.02</td> <td></td> </tr> </table>		費	建設費	25,000千円		用	維持管理費			項	総費用	25,000千円		目	現在価値（C）	25,000千円		便	水源かん養便益	155,774千円		災害防止便益	169,675千円		益	総便益	325,449千円		現在価値（B）	325,449千円			費用便益比（B/C）	13.02	
費	建設費	25,000千円																																			
用	維持管理費																																				
項	総費用	25,000千円																																			
目	現在価値（C）	25,000千円																																			
便	水源かん養便益	155,774千円																																			
	災害防止便益	169,675千円																																			
益	総便益	325,449千円																																			
	現在価値（B）	325,449千円																																			
	費用便益比（B/C）	13.02																																			

環境への影響と対策	地域指定状況等											
		特になし。										
環境への影響と対策	影響と対策	事業の実施に当たっては、治山ダム設置予定箇所隣接する林業用作業道を最大限に活用し、新たな仮設道の開設等を行わない等、土工による生産土砂を必要最小限抑制する計画している。										
総合評価	事業箇所評価結果											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予防治山事業 (新規事業箇所)</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2位 / 4</td> <td>3 箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	予防治山事業 (新規事業箇所)		—	2位 / 4	3 箇所		
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)									
	予防治山事業 (新規事業箇所)		—									
2位 / 4	3 箇所											
総合評価	対応方針											
		事業実施										

(参考資料)



位置図

平面図



現況写真

(既設治山ダムの不安定土砂堆積状況)

⑤ 治山施設の堆積状況(第1号谷止工 昭和44年度施工)



⑥ 治山施設上流の堆積状況(第2号谷止工 昭和44年度施工)



⑦ 溪床の堆積状況(第2号谷止工上流)



⑧ 林道「町裏線」のコレゲート吐口付近の堆積土砂



※

既設治山ダムにより土砂が流下せず堆積しているが、上流部において治山ダムを新設しない場合、さらに土砂が堆積する恐れがあり、既設ダムを越流して下流の集落に流下する可能性がある。

(治山ダム設置予定箇所)

⑰ 第4号谷止工



⑱ 堆積状況



⑲ 堆積状況



※既設ダムの上流に設置予定。上流においても溪岸の浸食や不安定土砂の堆積が確認でき、早期の対策が望まれる。

治山ダム構造図

